（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令 和 ８ 年 度　学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト （わせがく夢育高等学校）

目指す学校像	本校の教育スローガン〔自由・個性・夢育〕を基幹にし、令和８年度は次のような学校を目指し、本校の特色を明確化していく。 （１）生徒一人ひとり夢、人権及び個性がお互いに十分に尊重され、いつも楽しい雰囲気にあふれる学校。 （２）生徒が卒業までに、自立して生活できるように、人としての基礎基本（各教科の基礎学力・基本的生活習慣・社会的人間性等）を身につける学校。 （３）地域を理解し、地域に貢献し、地域に信頼される学校

重　点　目　標	（１）出席率の向上 （２）退学者の減少 （３）資格取得の奨励 （４）進路決定率の向上 （５）部活動の充実 （６）本校（通信制課程）理解の促進 （７）地域交流の促進

達成度	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者　学校関係者　　名
　　事務局(教職員)　名

学　校　自　己　評　価							学　校　関　係　者　評　価
年　度　目　標				年 度 評 価（　月　日 現在 ）			実 施 日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	皆勤者が一昨年度よりも更に増加し、日々の生徒対応・保護者対応の成果が現れている。全日型生徒の長期欠席も減少傾向にあり、各校舎の生徒対応の成果が出ている。今年度も職員会議での報告や生徒支援相談会を通じ、適切な指導の下、数値目標を達成したい。	出席奨励の連携を積極的に行い、生徒面談・保護者面談を充実させる。	皆勤者を１００名以上とする				
		長期欠席を未然に防ぐため、必要に応じて家庭訪問を実施し、生徒の通学意欲を向上させる。	生徒状況調査で全日型生徒の長期欠席を２０％未満とする				
2	近年の生徒数の増加に伴い、様々な事情を抱えた生徒が年々増加している。今年度も学級担任のみならず、チーム学校として、退学者、転出者の減少に取り組んでいき、目標達成を図りたい。	生徒面談・保護者面談を充実し、生徒の学校不適応の行動を見逃さない。	退学者５名以下とする				
		保護者との連携を強化し、常に適切な連絡を家庭と取り合う。	転出者を３名以下とする				
3	昨年度は一昨年度よりも高い目標設定であったため、受験者数、合格者数共に目標値に届かなかった。今年度は各校舎で検定対策授業を盛り込みつつ、クラス全体での受験日を設定するなど、受験者、合格者共に増加できるように取り組んでいきたい。	生徒の学習意欲を高める検定の実施。	受検者数延べ４００名				
		資格取得のための学習を提供する。	各種検定合格者延べ２２５名				
4	昨年度も進路指導部による定期的な進路研修会により、教員も高い意識のもと、進路指導にあたることができた。marchクラス以上の現役合格者のみ目標達成ができなかったため、習熟度別授業の展開や早稲田予備校とWISH個別指導教室との協力をより深め、marchクラス以上の現役合格者を更に増やしていきたい。	卒業率を９７％以上とする。	卒業率９７％以上				
		個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。	進路決定率８０％以上				
		進路指導計画を踏まえ、社会的自立に資する進路指導（キャリア教育）の一層の充実を図る。	各校舎進路ガイダンス４回以上				
		早稲田予備校、WISHとの連携を図る。	marchクラス以上現役合格延べ８名以上				
5	昨年度は全国大会へ出場した部活動は複数出ていたが、全国大会入賞は達成できなかった。その他部活動、同好会の参加者数は目標値を大幅にクリアしており、目標を達成することができた。今年度も新入生歓迎会等で積極的な参加を促し、日々の活動の満足度を高めつつ、全国大会入賞を目指していきたい。	部活動の活性化に努め、生徒に充実感、達成感を持たせる。	全国大会での入賞１部以上				
		部活動を通し、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係を深める。	学校評価アンケートで４５％以上の同意				
		部活動、同好会の加入者延べ数を３２５名とする。					
6	昨年度は所沢第二キャンパスの開設や川越キャンパスの増床があり、より多くの生徒を受け入れる環境が整った。定期的な生徒募集会議の実施や学校訪問、SNSによる広報など、一丸となった募集活動ができている。出願許可書の発行数に関しては私立高校無償化の影響があり、昨年度は目標枚数に達することができなかった。令和８年４月には熊谷学習センターが開設したため、北部地域にも積極的に広報活動を行っていきたい。また、創部１年目の硬式野球部の部員獲得も含め、埼玉県のみならず、東京都多摩地区への広報を強化していきたい。	全教職員が協力して、地域の中学校・高等学校の教職員との連携の強化を図る	訪問担当校（中高）を年２回以上すること				
		本校（通信制課程）理解促進のための中学校・高等学校等訪問の強化、訪問中学約６１７校とする。	訪問中学約６１７校とする。				
		学校行事・フェア・キャンパス行事等、様々な機会を通じて入学者が来校する機会を多く取り入れ、新入出願許可書の発行を７０枚以上を下限とし、８３３枚以上する。また、２０２６年８月末までに４５０枚以上とする。	新入出願許可書発行数８３３枚以上（２０２６年８月末までに４５０枚以上）				
		わせがく夢育生１０００名。	在籍生徒数１０００名				
		HP・SNSの充実を図る。各校舎のHP・SNSの更新を週１回以上とする。	各校舎のHP・SNSの更新を週１回以上				
7	地域の教育力を生かした活動や地域の特色を学ぶ学習に力を入れて取り組んだ結果、全ての校舎で目標を達成することができている。今年度は５周年を迎えるため、「地域と共に」のスローガンのもと、地域の教育力を生かした活動をより多く取り入れていきたい。	地域の方からゲストティーチャーを招き、地域の特色を学ぶ学習活動・協働作業の充実を図る。	地域の方々との学習活動・協働作業を年間６回以上				
		学校行事や地域イベント等への相互参加を通じ、地域理解や交流を深める。	地域イベント参加等の地域交流を年間６回以上				